

樺太産蟻類目録

寺 西 暢

A LIST OF THE ANTS OF SAKHALIN

CHO TERANISHI

1903年 A. FOREL が樺太産として最初の3種を挙げ、1912年 W. KARAWAJEW は6種を附加した。筆者は此所に鹿野忠雄氏から頂いた標本及び内田登一氏、今西錦司氏の御好意によつて調る事の出来た北海道大學昆蟲學教室、京都大學昆蟲學研究室の標本に基いて更に7種を追加し樺太産全部の目録を作つた。今後尙発見される種類は少なくなからう(殊に微小種に)と思はれるが一先之れ迄で判明した事實を明らかにして上記三氏に對する筆者の責を果したいと思ふ。樺太産種でより南方の日本領土に発見されたものは夫々之を挙げた。之等の資料を提供された人々の氏名は産地とともに挙げて謝意を表する。

Subfam. Myrmicinae

1 *Myrmica*. (*Myrmica*) *ruginodis* NYLANDER

歐洲の北部中部及び南部の山間地方に分布し、其他ではコーカサス、トルキスタン、トラスカスピア等に知られて居り東部アジアには産しないものと考へられて居たが KARAWAJEW (1912) は朝鮮 (Koredshi と Dore 間及び元山)、ウラジオストック附近、樺太 (Petropavlovskoe, Vladimirovka, Kussunaj, Mauka, Tomari-po, Eochomonajbu) から之の種を報じて *M. laevinodis* NYLANDER と其の分布の殆んど等しい事を明らかにした。

私の標本は、軍川 (♀. ♂. 25-VIII-'14, 内田、河野) である。

2. *Myrmica* (*Myrmica*) *ruginodis* subsp. *orientalis* KARAWAJEW

Type locality はウラジオストックの 30 km. 北方である。此亞種が南千嶋色丹嶋及び樺太で発見された事は既に報告した (Trans. Kans. Ent. Soc. 2, p. 29, 1931)。私の樺太産標本は、元泊 (♀. 17-VIII-'24, 鹿野) である。

3. *Myrmica (Myrmica) lobicornis* var *jessensis* FOREL

FOREL (1901) が札幌産の標本によつて設けた變種であるが其後新しい産地として知られたものがなかつたが今年今西錦司氏の採品 1 ♀ (幌内川 Tundra, 31-VIII-'32) を認めて樺太に産する事を知つた。

北海道での産地、札幌大學植物園、小樽附近奥澤、琴似 (寺西)、帯廣 (♀、大内)。

尙近頃桑名博士から頂いた盛岡産の標本中にこの變種と同定す可き數個の職蟻を得て内地への侵入を知つた。

4. *Myrmica (Myrmica) kurokii* FOREL

この特殊な蟻の産地は單に日本と云ふだけで分布の有様は全然不明であつたが今西錦司氏 (昆蟲, IV, 3, pp. 183—185, 1930)¹⁾ は信州雪倉岳、清水尾根に得て此種は森林帶上限以上に見出されるものの一つなる事を指摘された。

筆者の調べた標本、樺太：一ノ澤 (♀、14-VII-'24, 内田)、元泊 (♀、17-VIII-'24, 鹿野)、(♀、14-VIII-'32, 今西)、本州：徳本峠 (♀、大林)、鎗澤 (♀、大林)、駒岳 (♀、東)、白根草スベリ (♀、樹田)、千丈ヶ岳 (♀、吉岡)、北海道：大雪山 (♀、内田、河野)。

5. *Leptothorax (Mychothorax) ecervorum* FABRICIUS

今西氏の採品 (1 ♀、2-VIII-'32) によつて樺太を本種の分布地に加へる事が出来た。この標本は南歐産の標本に比較して少々體色の濃厚な外之と區別し難いものである。

南端を除いて全歐洲に分布し、其他トルキスタン、Gremjatskka (中央ロシア)、Dorf Listemenitschnoje, Tanchoj-Mischicha (バイカル湖附近)、Dorf Bestach (ヤクーツクよりレナ河上流 106 km.) から知られて居る。

subfam. Formicinae

6. *Camponotus (Camponotus) hercureanus* var *sachalinensis*

FOREL

1) *Myrmica* sp. (*M. kurokii* FOREL?) とあるもの筆者其後 *M. kurokii* と確認す。

樺太、滿洲、蒙古産の♀によつて設定された變種で KARAWAJEW (1912) はバイカル及び滿洲から之を報告した。尙 KARAWAJEW が *C. hercureanus* var. *jacutica* KARAWAJEW (Mem. Classe. Sci. Physic. Mathem. IV, 2, pp. 210—211. 1926. Zool. Anzeiger 93, 1/2, p. 30, 1931) として發表したものは *C. hercureanus* var. *sachalinensis* FOREL のシノニムとす可きものである事の通告を同氏から受けた。氏が var. *jacutica* の産地として擧げた所は、Kurort Kuldur (ウスリ線 Birakan 驛北方 32 km.)、Dorf Dvoretz, Kabon-Distr. (イルクーツク省)、Tanchoj-Mischicha (バイカル湖附近)、バイカル驛、樺太では Fluss Poronaj, Posten Tichmenjovsk.

今西錦司氏 (昆蟲、IV, 3, p. 186, 1930)¹⁾ は本變種を信州の亞高山帯に産する事を報告された。

筆者の檢した樺太産標本は、馬軍潭 (♀. 18-VII-'24, 鹿野)、元泊 (♀. 17-VII-'24, 鹿野)、三ノ澤 (♀. 1-VIII-'24, 鹿野)、川上 (♀. 30-VII-'24, 松村)、一ノ澤 (♀. 2-VIII-'23, 松村)、幌内川 (♀. 30-31-VII-'32, 今西)、茂意我川 (♀. 12-VIII-'32, 今西)。

信州産では、徳本峠 (♀. 2-VIII-'31, 大林)、北澤 2,000 m. (♀. 13-VIII-31, 吉岡) 千丈ヶ岳 2,300 m. (♀. 13-VIII-'31, 吉岡)。

7. *Camponotus* (*Camponotus*) *hercureanus* subsp. *pennsylvanicus* var. *saxatilis* RUZSKY

この變種は新たに樺太の蟻相中に加へられるものであるが實は私は既に之れを *C. japonicus* var. *aterrima* EMERY と誤認して樺太及北海道から報告した (動物學雜誌 41, 188, p. 240, 1929)。私が var. *aterrima* とした標本の一部を KARAWAJEW はウラル産其他のシベリア産の var. *saxatilis* と比較して全く同一である事を知らせて呉れた。尙 KARAWAJEW (Rev. Rus. Ent. XII, 2, pp. 594—595, 1912) が矢張 var. *aterrima* として樺太から書いた標本は全部新變種 *jacutica* であるとした。所がこの var. *jacutica* は前記の通り var. *sachalinensis* のシノニムである。従て var. *aterrima* は全然樺太の蟻相から除外され更めて

1) *C. hercureanus* var. *sachalinensis* FOREL? とされしもの筆者其後 *C. hercureanus* var. *sachalinensis* と確認せり。

saxatilis として加へられる事となつた。

私の調べた樺太産標本は、大泊 (♀. 31-VII-'24, 鹿野)、元泊 (♀. 17-VII-'24, 鹿野)、一ノ澤 (♀. 14-VIII-'24, 松村)、沖見山 (♀. 7-VIII-'32, 今西)、茂意我川 (♀. 12-VIII-'32, 今西)、第三半田澤 (♀. 13-VIII-'32, 今西)。

北海道は、大雪山 (♀. 4-10-VIII-'26, 内田、河野)、帯廣 (♀. 25-VIII-'23, 大内)。

既知産地、ニヂニノゴロッド、シンビルスク、エカテリンブルグ、アクモリンスク、オムスク、バイカル湖附近、ヤクーツク、ウスリー、朝鮮元山。

8. *Lasius (Lasius) niger* LINNAEUS

KARAWAJEW (1912) は樺太の Chappusi, Mauka から標本を得た。

筆者の調べた標本は、川上温泉 (♀. 12-VIII-'24, 鹿野)、皆岸 (♀. 5-VIII-'24, 鹿野)、馬軍潭 (♀. 18-VIII-'24, 鹿野)、大泊 (♀. 31-VII-'24, 鹿野)、一ノ澤 (♂. ♀. ♀. 14-VIII-'24, 内田)、幌内川ツンドラ (♀. 31-VII-'32, 今西)、留久玉川 (♀. 1-VIII-'32, 今西)。

本種は全歐洲、北部アフリカ、マデイラ、トルキスタン、シベリア、支那、朝鮮、日本に廣く分布して居る。

9. *Formica (Serviformica) fusca* LINNAEUS

Pisponi, Chappusi, Korsakovsk を KARAWAJEW (1912) が報告し、筆者は元泊 (♀. 17-VIII-'24, 鹿野)、大泊 (♀. 31-VII-'24, 鹿野)、泊岸 (♀. 27-VII-'32, 今西)、留久玉川 (♀. 2-VIII-'32, 今西) を擧げる事が出来る。

南千嶋色丹嶋に産する事は既に報告した (1931)。

北部及中部ユーラシアに分布し、北部アメリカにも産する。尙 WHEELER (1930) は支那の 'Lunganfu, gorge of Chadzy-Zou, 6,000 f. Province Szechuen and Maotschzu-Mataigi' を擧げた。

10. *Formica (Serviformica) picea* NYLANDER

幌内川ツンドラ (♀. 31-VII-'32, 今西)の標本によつて *picea* を新たに樺太の蟻相に加へる事が出来た。

此種が野付牛(大内)に發見された事は既に報告したが最近吉岡春之助氏は之

を赤城山（♀. 26-VII-'32）に発見された。

北歐には廣く分布し、バミール、チベット、バイカル、ヤクーツク、アムール、滿洲里、支那（Lautschön）から知られて居る。尙筆者は最近吉岡氏からハルビン郊外産の ♀ の寄贈を得た。

11. *Formica (Formica) rufa* LINNAEUS

KARAWAJEW (1912) は Korsakovsk から報告した。私は未だ樺太並に他の何れの日本領土にも Typical な *rufa* を見ない。

北及中央歐洲、南歐の山地、コーカサスに産し、シベリアでは、バイカル湖附近（Dorf Listwenitschnoje, バイカル驛、Tanchoj-Mischicha, Bolschije Koty）、イルクーツクから知られて居る。最近筆者は吉岡氏からハルビン郊外産の ♀ ひとつ Typical な 1 ♀ を頂いた。

12. *Formica (Formica) rufa* subsp. *pratensis* DEGEER

FOREL (1903) は 1 ♀ を樺太から得て報告したが其後何人も樺太からは新たに標本を得て報じたものはない。筆者も何れの採品中にも之を見なかつた。

北及中央歐洲、コーカサスに知られ、シベリアではイルクーツクに産する。

13. *Formica (Formica) rufa* var. *truncicorpratensis* FOREL

KARAWAJEW (1912) は樺太 Echomonaihu, 朝鮮（Tshaansa, Pondshe と Chvadyu との間、Sempjentshakory と Soku との間及 Pirotoronajho）から書いたが、筆者は未だ本邦領土の何れからも之を得ない。

中央歐洲及東部ロシアに知られて居る。

14. *Formica (Formica) truncorum* FABRICIUS

FOREL (1903) は 1 ♀ を樺太に得た。筆者 (1929) は富内（♀. 5-VIII-'24, 鹿野）及一ノ澤（♂. 14-VIII-'24, 内田）を擧げた。今西氏の採品中に茂意我川（♀. 9-VIII-'32）を認めた。

北及中央歐洲、アルプス、コーカサス、シベリア、トルキスタン、カシミール、東部ブカラに産する。

15. *Formica (Raptiformica) sanguinea* var. *fusciceps* EMERY

筆者(1929)は、大泊(♂. 21-VII-'24, 鹿野)、馬軍潭(♀. 8-VIII-'24, 鹿野)、一ノ澤(♀. VIII-'24, 内田)を挙げた。今年の今西氏の採品は、泊岸(♀. 27-VII-'32)、幌内川ツンドラ(♂. 30-VII-'32)、沖見山(♀. 3. 7-VIII-'32)である。

北海道に産する事は既に矢野氏(1912)及寺西(1924)が報告したが、本邦内地に産するや否や疑問であつた。尤も此變種の Type locality は 'Yokohama' である。之れの疑はしい事は今も變りはないが、本州中央部の山地には産する事を知り得たから下に北海道での産地とともに之れを挙げる。

北海道 札幌、定山溪(寺西)、野付牛(大内)。

本州 鹽原(中村)、信州中房温泉(吉岡)、嶋々(大林)、上高地(佐藤)。

以上の外今西氏の採品中に *Myrmica* の一種の職蟻一頭があつたが検査未了のためこの目録から除外して置いた。*Myrmica (Myrmica) scabrinodis* NYLANDER の 1 變種とす可きものらしいが今決定する事が出来ない。歐洲産の *scabrinodis* に極めて近いが體の背面は黒褐色で頭部の背面の如きは殆んど黒色である。